



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月10日

上場会社名 Kudan株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4425 URL <https://japan.kudan.eu/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大野 智弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 飯塚 健 (TEL)03-6273-9760  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日 ー  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	376	83.8	123	—	103	—	103	—
2018年3月期	204	131.2	△3	—	4	—	3	—

(注) 包括利益 2019年3月期 106百万円 (—%) 2018年3月期 △2百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	15.35	14.56	19.1	18.2	32.7
2018年3月期	0.57	—	1.9	2.0	—

- (注) 1 当社は2018年9月30日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。
- 2 当社は、2018年12月19日に東京証券取引所マザーズに上場しております。2019年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2019年3月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
- 3 2018年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	931	892	95.8	129.17
2018年3月期	206	190	92.0	29.36

(参考) 自己資本 2019年3月期 892百万円 2018年3月期 190百万円

(注) 当社は2018年9月30日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産については、2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	110	△0	590	868
2018年3月期	△25	△1	—	167

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金 総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四 半期末	第2四 半期末	第3四 半期末	期 末	合 計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前年度増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	650	72.8	213	73.8	213	106.6	213	106.8	30.92

※ 注記事項

(1) 当連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社 (社名) 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年3月期	6,906,600株	2018年3月期	6,479,200株
2019年3月期	—株	2018年3月期	—株
2019年3月期	6,723,993株	2018年3月期	6,479,200株

(注) 当社は2018年9月30日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行っております。期末発行株式数並びに期中平均株式数は、2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(参考) 個別業績の概要

2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績（累計）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	147	26.2	1	—	△11	—	△11	—
2018年3月期	116	11.9	△6	—	△6	—	△6	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	△1.69	—
2018年3月期	△1.06	—

(注) 1 当社は2018年9月30日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2 2019年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

3 2018年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	979	943	96.3	136.58
2018年3月期	367	359	97.7	55.43

(参考) 自己資本 2019年3月期 943百万円 2018年3月期 359百万円

(注) 当社は2018年9月30日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産については、2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当社グループの事業に影響を与える経営環境に対する評価 .....	2
(2) 経営成績に関する概況 .....	2
(3) 財政状態に関する概況 .....	2
(4) キャッシュ・フローに関する概況 .....	3
(5) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	5
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	6
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(1株当たり情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当社グループの事業に影響を与える経営環境に対する評価

当社グループは、機械（コンピュータやロボット）の「眼」に相当する AP(人工知覚)のアルゴリズムを専門とする Deep Tech（深層技術）の研究開発を行っております。AP(人工知覚)は機械の「脳」に相当する AI(人工知能)と並んで相互補完する Deep Tech（深層技術）として、機械を自律的に機能する方向に進化させる技術であります。さらに AI(人工知能)や IoT（Internet of Things）との技術融合に向けた Machine Perception（機械知覚）、Deep Perception（深層知覚）及び Neutral Perception Network（知覚ニュートラルネットワーク）に関する研究開発も進めており、今後幅広い産業での応用と普及を見込んでおります。

このような状況下、当社グループはAP(人工知覚)の基幹技術の一つである SLAMの独自開発を続けております。前連結会計年度中には、研究開発マイルストーンの進捗により、SLAM をソフトウェアライセンス化した KudanSLAM を様々な先端技術企業に対して提供することで、自社研究開発の収益化を進めてまいりました。後述の通り、当社グループの経営成績に順調に寄与し、更に将来の AP(人工知覚)の普及と応用可能性から、特定の技術領域や産業での利用に限定されず幅広い範囲で引続き高成長が見込まれると考えております。

### (2) 経営成績に関する概況

当連結会計年度の売上高は 376,111 千円（前年同期比 171,443 千円増）、売上総利益は 354,200 千円（同 159,149 千円増）となりました。「KudanSLAM」のライセンス提供数は増加し、大口の契約締結もありました。

販売費及び一般管理費は、231,179 千円（前年同期比 33,061 千円増）となりました。これは主に、業務拡大に伴う人件費の増加（同 6,564 千円増）及び諸経費の増加（同 14,202 千円増）、研究開発活動の強化に伴う研究開発費の増加（同 12,326 千円増）によるものであります。この結果、営業利益は 123,020 千円（前年同期は 3,066 千円の営業損失）となりました。

経常利益は 103,532 千円（前年同期比 99,353 千円増）となりました。これは主に、昨今の急激な為替変動による為替差損 3,853 千円（前年同期は 7,080 千円の為替差益）、東京証券取引所マザーズ市場への上場等に伴う株式交付費 4,651 千円及び株式公開費用 11,032 千円によるものであります。この結果、税金等調整前当期純利益は 103,532 千円（同 99,541 千円増）となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は 103,242 千円（前年同期比 99,564 千円増）となりました。

なお、当社は AP 事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (3) 財政状態に関する概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は 927,461 千円（前連結会計年度末比 725,874 千円増）となりました。これは主に、現金及び預金が増加（同 700,372 千円増）、売掛金が増加（同 22,244 千円増）したことによるものであります。

また、固定資産は 3,545 千円（前連結会計年度末比 1,587 千円減）となりました。

以上の結果、資産合計は 931,006 千円（前連結会計年度末比 724,286 千円増）となりました。

#### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は 38,871 千円（前連結会計年度末比 22,381 千円増）となりました。これは主に、未払消費税が増加（同 21,263 千円増）したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は 38,871 千円（前連結会計年度末比 22,381 千円増）となりました。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、892,134 千円（前連結会計年度末比 701,905 千円増）となりました。これは、株式発行に伴う資本金及び資本準備金の増加（計 595,515 千円増）、当期包括利益によるものであります。

(4) キャッシュ・フローに関する概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは110,383千円の資金獲得(前年同期は25,737千円の資金支出)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益103,532千円(前年度比99,541千円増)であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは445千円の資金支出(前年同期比730千円の資金支出の減)となりました。有形固定資産の取得による支出445千円がありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは590,863千円の資金獲得(前年同期は財務活動によるキャッシュ・フローは無し)となりました。株式の発行による収入590,863千円がありました。

以上のほか、現金及び現金同等物に係る換算差額の影響もあり、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は868,268千円となりました。

(5) 今後の見通し

2020年3月期につきましては、自動運転やロボティクス等の良好な市場環境の背景もあり、機械(コンピュータやロボット)の「眼」に相当するAP(人工知覚)である「KudanSLAM」ソフトウェアライセンスの販売とマイルストーン収益の増加を見込んでおります。また、更なる研究開発活動とグローバルにおける販売活動を強化するとともに、当社事業の関連及び展開領域のDeep Tech(深層技術)への投資を加速することで、継続的な成長を目指しております。

以上から、2020年3月期の連結業績予想といたしましては、売上高650,000千円(前年同期比273,889千円増)、営業利益213,844千円(同90,824千円増)、経常利益213,844千円(同110,312千円増)、親会社株主に帰属する当期純利益213,554千円(同110,312千円増)を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの連結財務諸表は、わが国において一般に公正妥当と認められる会計基準に基づき作成されております。国際財務報告基準の適用については未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	167,896	868,268
売掛金	25,146	47,390
たな卸資産	1,761	631
その他	6,783	11,171
流動資産合計	201,587	927,461
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品 (純額)	1,633	1,251
有形固定資産合計	1,633	1,251
投資その他の資産		
差入保証金	3,498	2,293
投資その他の資産合計	3,498	2,293
固定資産合計	5,132	3,545
資産合計	206,720	931,006
負債の部		
流動負債		
未払金	4,216	7,318
未払法人税等	1,073	4,391
その他	11,200	27,162
流動負債合計	16,490	38,871
負債合計	16,490	38,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	182,155	479,912
資本剰余金	182,155	479,912
利益剰余金	△193,455	△90,213
株主資本合計	170,854	869,611
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	19,375	22,522
その他の包括利益累計額合計	19,375	22,522
純資産合計	190,229	892,134
負債純資産合計	206,720	931,006

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	204,668	376,111
売上原価	9,616	21,911
売上総利益	195,051	354,200
販売費及び一般管理費	198,118	231,179
営業利益又は営業損失(△)	△3,066	123,020
営業外収益		
受取利息	98	36
為替差益	7,080	—
還付加算金	—	11
その他	67	0
営業外収益合計	7,246	47
営業外費用		
為替差損	—	3,853
株式交付費	—	4,651
株式公開費用	—	11,032
営業外費用合計	—	19,536
経常利益	4,179	103,532
特別損失		
固定資産除却損	187	—
特別損失合計	187	—
税金等調整前当期純利益	3,991	103,532
法人税、住民税及び事業税	313	290
法人税等合計	313	290
当期純利益	3,678	103,242
親会社株主に帰属する当期純利益	3,678	103,242

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	3,678	103,242
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5,966	3,147
その他の包括利益合計	△5,966	3,147
包括利益	△2,288	106,389
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△2,288	106,389
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他の包括 利益累計額	純資産合計
					為替換算 調整勘定	
当期首残高	182,155	182,155	△197,133	167,176	25,342	192,518
当期変動額						
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,678	3,678		3,678
株主資本以外の項目の 当期の変動額 (純額)					△5,966	△5,966
当期変動額合計	—	—	3,678	3,678	△5,966	△2,288
当期末残高	182,155	182,155	△193,455	170,854	19,375	190,229

当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他の包括 利益累計額	純資産合計
					為替換算 調整勘定	
当期首残高	182,155	182,155	△193,455	170,854	19,375	190,229
当期変動額						
親会社株主に帰属する 当期純利益			103,242	103,242		103,242
新株の発行	297,757	297,757		595,515		595,515
株主資本以外の項目の 当期の変動額 (純額)					3,147	3,147
当期変動額合計	297,757	297,757	103,242	698,757	3,147	701,904
当期末残高	479,912	479,912	△90,213	869,611	22,522	892,134

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,991	103,532
減価償却費	905	804
為替差損益 (△は益)	△7,120	3,306
受取利息	△98	△36
株式交付費	—	4,651
固定資産除却損	187	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,032	△26,907
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,723	945
その他	△5,499	23,089
小計	△22,389	109,385
利息の受取額	98	36
法人税等の支払額	△3,446	△150
法人税等の還付額	—	1,111
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25,737	110,383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,175	△445
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,175	△445
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	590,863
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	590,863
現金及び現金同等物に係る換算差額	902	△430
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△26,010	700,371
現金及び現金同等物の期首残高	193,907	167,896
現金及び現金同等物の期末残高	167,896	868,268

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの事業セグメントは、AP事業のみの単一セグメントであり、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	29円36銭	129円17銭
1株当たり当期純利益金額	0円57銭	15円35銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	14円56銭

(注1) 当社は2018年12月19日に東京証券取引所マザーズに上場しております。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から当連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(注2) 当社は2018年9月30日付で普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額又は潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。

(注3) 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(注4) 1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額又は潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額		
純資産の部の合計額(千円)	190,229	892,134
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	190,229	892,134
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	6,479,200	6,906,600
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	3,678	103,242
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	3,678	103,242
普通株式の期中平均株式数(株)	6,479,200	6,723,993
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	364,570
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式 の概要	第1回新株予約権、第2回 新株予約権、第3回新株予 約権、第4回新株予約権、 第5回新株予約権、第6回 新株予約権、第7回新株予 約権、第8回新株予約権	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。